

ミシマサワガニ

【所 在 地】黒島、口永良部島及び宇治群島（地域を定めず指定）

【種 別】県指定天然記念物

【指定年月日】平成25年4月23日



ミシマサワガニ

黒島のミシマサワガニは、2011年12月に新種として発表されたが、それまでは「島嶼^{とうしょ}のサワガニ」の名称で鹿児島県レッドデータブック（鹿児島県, 2003）に準消滅危惧種として掲載され、その重要性はすでに認識されていた。

ミシマサワガニは黒島以外では、口永良部島と宇治群島にのみ生息しており、これら島嶼間の地史的関係を考慮する上で重要な情報を与えてくれると考えられる。

また、サワガニ類の分類学的研究においても種分化過程等を解明する上で貴重な知見も提供することが期待される反面、生息環境の絶対的不足から、その生息数は安定しているとはいえ低レベルであるため、突発的な環境変動、生息環境の消失等に見舞われれば減少、消滅の危機にさらされていると危惧される。